

暖房器具からの火災に 注意



4月となり日中は過ごしやすい気温となる一方で、朝晩は肌寒さを感じる日もあり、未だ暖房器具の使用が欠かせません。

このように寒い時期に欠かせない暖房器具ですが、使い方を誤ると火災の原因となります。

暖房器具には、電気ストーブ、石油ストーブ、ガスストーブなど、様々な種類がありますが、嶺北消防組合管内でも暖房器具による火災が発生しています！

次のポイントに注意し火災予防へのご協力をよろしくお願いします。

火災予防のポイント

暖房器具の周囲は常に整理整頓する！

- カーテンや布団など、燃えやすいものの近くで使用しない。また、スプレー缶などを暖房器具の周囲に置くと、熱せられ、破裂や爆発を起こすおそれがあるため、絶対に置かない。
- 暖房器具の周囲で洗濯物を乾燥させない。



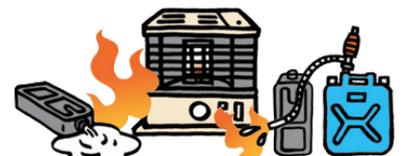
就寝や給油の際にはストーブの火を完全に消火する！

- 就寝中は火災の発見に気づきにくく非常に危険。
- 火をつけたままの給油は絶対に行わない。



誤給油やキャップの閉め忘れに注意する！

- ガソリンや軽油を間違えて、燃料タンクに給油しないように注意する。
- 燃料キャップの閉め忘れや、締め付け不良がないか確認する。



お問合せ

所属 嶺北消防本部予防課

連絡先 0776-51-8435

E-mail yobou@reihoku-fd.jp